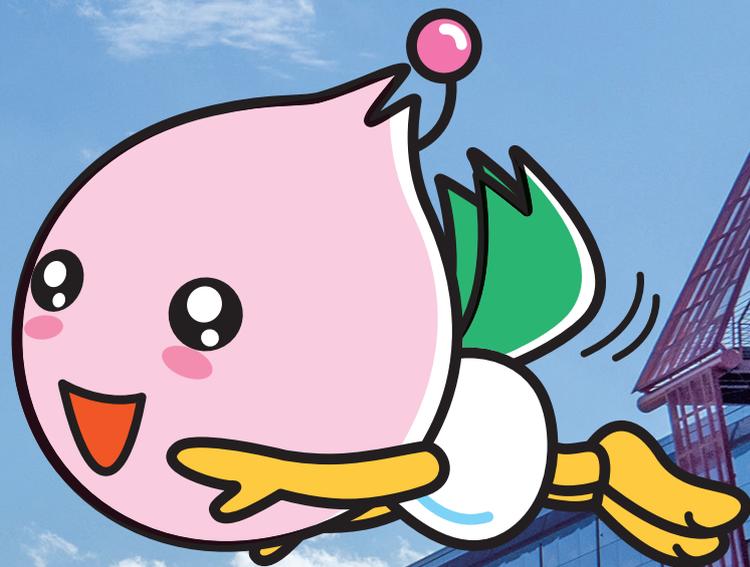
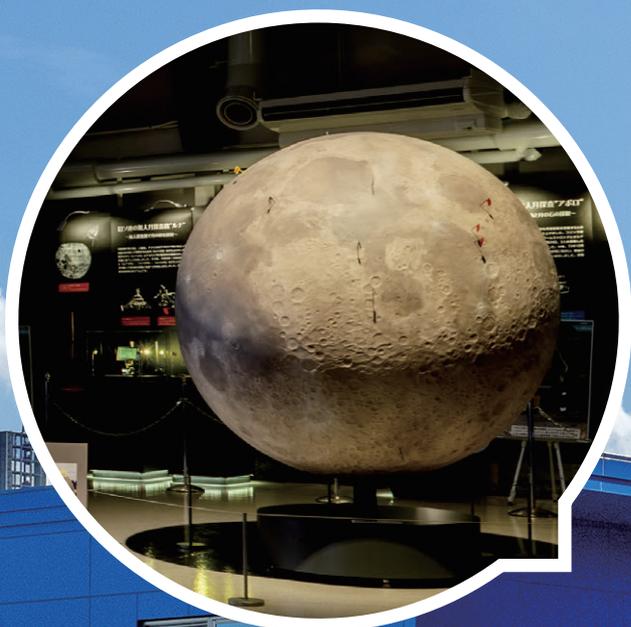


広報各務原（小中学生向け）

広報 **かかみかはら**

令和6年12月発行（年2回発行）

各務原市広報課



10月に、空宙博に新しい施設「スペースボックス」がオープン。3月9日まで、月をテーマにした特別企画展が行われています。ぜひ、お越しください。

子どもたちが、夢や目標、市への誇りを持てるよう、身近なものを作る市内企業の「ものづくりへの思い」などを紹介します。

あれもこれも
各務原生まれ!

No. 13

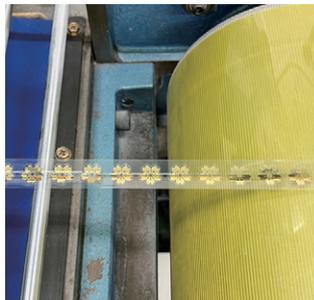
「食用金箔」 ツキオカフィルム製薬株式会社



① この会社では、金をシート状に加工して、いろいろな形の食べられる金箔を作っているよ。この金箔に占める金の割合は、ほぼ100%!純度の高い金箔を作っているんだ。



② 0.01g単位で計量して瓶に詰めるよ。機械では難しい作業なので、1本ずつ人の手で行ってるんだ。金箔は少しの風でも舞い上がってしまうので、風の当たらない場所で瓶詰をしているよ。



③ お客様の注文に応じて、金箔のフィルムをさまざまな形や文字にくり抜くことができるよ。細かい文字やロゴマークのようなデザインを表現するための、独自の加工技術があるんだ。

岐阜新聞社主催「第8回かべ新聞コンクール」岐阜新聞社賞を受賞

あさのあやね
浅野 綾音さん

蘇原中学校美術部の3年生。趣味は、iPadで絵を描くことです。



いま、私たちにできることを

岐阜新聞社主催の「第8回かべ新聞コンクール」。県内の小・中学生506名の応募の中から、浅野綾音さんの「気象新聞」が、岐阜新聞社賞を受賞しました。蘇原中学校では、SDGSの授業の一環で、かべ新聞を作成。浅野さんは、「最近、暑い日が増え、雨もたくさん降っている。異常気象が起こるのはなぜだろう」という疑問から、「気象」をテーマにしました。異常気象についてインターネットなどで調べ、食料や生活への影響など、身近な例を取り入れ、図や文字の配置にも気を配り、分かりやすくまとめました。

新聞づくりには、5回分の授業だけでは時間が足りず、自宅でも取り組んだ浅野さん。その結果、賞を受賞することができました。「もう少し色を使ってまとめると、より見やすくなったかもしれないですね。受賞は驚きでしたが、うれしかったです」と、喜びました。そして、「思ったよりも、台風や猛暑日が多くてびっくりしました。今の状況が続くと、さらに台風が増えたり、平均気温が上がったりしてしまつ」と、新聞づくりを通して、地球温暖化の危険性を学びました。今後は、「電気をこまめに消したり、公共交通機関を使ったりするなど、自分ができることをやっていきたい」と意気込んでいます。さらに、「新聞を見た人にも、今の地球の状態を知ってもらい、それぞれ自分ができることに取り組んでほしい」と訴えました。



子どもたちが、夢や目標、市への誇りを持てるよう、身近なものを作る市内企業の「ものづくりへの思い」などを紹介します。

あれもこれも
各務原生まれ!

No.
14

デザインバス 岩戸工業株式会社



メイドイン
各務原

➡ この会社では、観光地などを走る、デザインバスを作っているよ。天井をガラスにしたり、まちに合った外装にしたり、世界に1つだけのバスを作っているんだ。



⌚ 「できないを言わない」が会社のモットー。「内装を和風にしたい」、「中から空を見たい」など、さまざまなお客様の思いに応えるため、技法や素材など、新しいことにも挑戦しているよ。



⌚ デザインバスは、バスごとに形が変わるため、ほとんどを手作業で作るんだ。塗装も、バス1台を全て人の手で行うよ。その日の気温や湿度に合わせて、毎回、塗り方を変えているんだ。

市子ども会育成協議会会長や顧問として、30年以上、子ども会活動に貢献

のなか よしこ
野中 好子さん

77歳。元気の秘訣は「よく食べ、よく寝ること」。コーラスや体操など、好きなことをとことん楽しみます!



幼い頃から、子ども会が大好き!

子どもたちが交流する場として、地域に設けられる子ども会。各務おがせ町の野中好子さんは、市子ども会育成協議会会長や顧問などとして、30年以上に渡り、市内の子ども会活動の充実に貢献してきました。野中さんは幼い頃から、子ども会が大好き。ラジオ体操や火災予防の啓発で、違う学年の友だちを作りました。また、父が子ども会に関わっており、「将来、私も子ども会を支えたい」と、父の姿に憧れました。

娘が小学生になった、昭和63年、野中さんは、校区の子ども会の代表である育成会長に就任します。新入生の歓迎会やクリスマス会など、子どもと同じ目線で、子ども会を運営しました。平成14年、野中さんは、市内の子ども会をまとめる市子ども会育成協議会会長に就任。不安もありましたが、「できることをやろう」と決意しました。当時、市内の子ども会が集まるイベントは、小学6年生が劇や歌を披露するものでした。野中さんは「学年の違う子どもたちが交流できる機会にしたい」と、全学年が一緒に活動する形を提案。新たな形に戸惑う人にも丁寧に説明し、子どもたちが主体となり運営する、現在の「かかみがはらっ子大集合」を作り上げました。現在、野中さんは、市子ども会育成協議会の顧問として、役員の相談に乗っています。「子どもも大人も笑顔になれる子ども会になってほしい」と、今後も子ども会を支えていきます。



子どもたちが、夢や目標、市への誇りを持てるよう、身近なものを作る市内企業の「ものづくりへの思い」などを紹介します。

あれもこれも
各務原生まれ!

No. 15

野球のベース

信栄ゴム工業株式会社



③ この会社では、自動車に使われる部品や、野球のベースなどのゴム製品を作っているよ。手のひらサイズから1メートルくらいまで、いろんなサイズの製品を作れるんだ。



④ 原料などを混ぜ合わせたものを型に入れて、約170℃で焼いて作っているよ。どのような固さ、弾力になるかは、原料や入れる薬品の量や組み合わせ次第。レシピは企業秘密なんだ。



⑤ 強度をあげる素材が黒いから、黒いゴム製品が多いんだよ。白いものを作るときには、他の色が混ざらないように機械を丁寧に掃除するなど、細心の注意を払っているんだ。

世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ 飼育スタッフ

なかの だいき
中野 大輝さん

仙台出身の33歳。去年から、コツメカワソウやカピバラなどの動物を担当しています。

疑問を持てば、世界が広がる

「自然に対して、興味や疑問を持つて欲しい」。そう話すのは、川島にある世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふの中野大輝さん。「疑問を持てば、世界が広がります」と探究の楽しさを伝えます。

幼いころ、父親や祖父とよく釣りに行っていた中野さん。その時に釣ったカレイなどの変わった形をした魚を見て、「どうしてこんな形をしているのだろう」と疑問に思ったことから、魚に興味を持ちました。「進路に悩むことはなかった」と、大学では、魚について学べる学科を専攻。大学ではアユを扱う研究室に在籍しており、このことが淡水魚を扱うアクア・トトぎふで働くきっかけになりました。同館では春になると、毎年サツキマスを表示しています。サツキマスは、産卵期には白い綿のようなカビが付くことも。来館者からは、「なんで、白い綿が付いているの?」と疑問の声も聞かれます。産卵に力を使い果たし、免疫力が低下したサツキマスにはよく見られる現象で、異常なことではありません。独特な生態や、次世代につなぐ「命の尊さ」を伝えるために、あえて展示や解説を行っています。

日本の中央にある岐阜県は、東西の生き物の生息域が交り合い、希少な淡水魚も生息する特別な場所。「木曾三川の魅力」を、市民にも知ってもらえるよう、これまで得た知識や経験を生かして、展示や企画を工夫したい」と意気込みます。



子どもたちが、夢や目標、市への誇りを持てるよう、身近なものを作る市内企業の「ものづくりへの思い」などを紹介します。

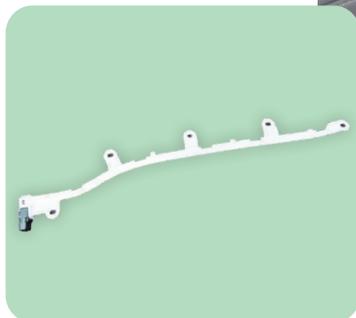
あれもこれも
各務原生まれ!

No.
16

車のドアイルミネーション ムトー精工株式会社



➡ この会社では、自動車のプラスチック部品を作っているよ。市内4カ所の工場で24時間機械を動かして、1日に55種類、約30万個の部品が作られているんだ。



⊖ プラスチックの型となる金型の設計・製作から、成形、色をつける加工、組立までを一貫して自社で行っているんだ。アイデアや技術を、すぐに部品に反映することができるんだよ。



⊖ ドアイルミネーションの部品は、異物が混ざると、光を遮り、きれいに光らないんだ。部品に不具合はないか、光り方を確認し、異物がないことを、必ず人の目で確認しているよ。

チアリーディングの世界大会 The SUMMIT 2024 に出場

みずたに あみ
水谷 亜美さん

那加中学校の1年生。CHEER+ Blue Fires Kronus 所属。練習の息抜きは、愛犬のカツオくんと遊ぶこと。

達成感を積み重ねて

水谷さんがチアリーディングを始めたのは、小学1年生のとき。イベントで見た演技に憧れ、小学2年生からは、大会などに出場する選抜チームに入りました。それ以来、週3〜4回のチーム練習のほか、技に必

今年5月、アメリカで、チアリーディングの世界大会「The SUMMIT 2024」が行われました。水谷亜美さんの所属するチームが出場し、JASE U16 Level 2部門で、予選を56チーム中6位で突破、初めての世界大会で決勝進出という好成績を収めました。「予選結果を知ったときは信じられず、夢のようでした。決勝は悔しい結果となりましたが、世界の中で演技できて楽しかったです」と、大会を振り返りました。

チアリーディングでの経験を糧に「どんなことにも努力を積み重ねていきたい」と、これからの中学校生活に、期待を膨らませます。

要な体幹を鍛えるトレーニングやストレッチなど、毎日の自主練習を行っていました。学校の勉強との両立も大変でしたが、「チームの一員として、もっと上達したい」、「達成感を味わいたい」と、練習に取り組んだ水谷さん。「着地は足を閉じる」、「バック転の距離を延ばす」などと、小さな目標を積み重ね、技の精度を高めました。

そして出場した、世界大会。大歓声の中、「演技に集中するのが難しかったけれど、予選では今までで一番いい演技ができました」と、満足そうに語りました。



子どもたちが、夢や目標、市への誇りを持てるよう、
身近なものを作る市内企業の「ものづくりへの思い」などを紹介します。

あれもこれも
各務原生まれ!

No.
17

「パレット」 岐阜プラスチック工業株式会社



➡ この会社では、さまざまなプラスチック製品を作っているんだ。キッチン用品や自動車部品、重い荷物を運ぶパレットなど、暮らしに欠かせないものばかりだよ。



⊖ 使い終わったプラスチック製品をリサイクルした原料も使用して、パレットなどを製造しているよ。この会社では、環境に配慮した製品の開発や普及にも取り組んでいるんだ。



⊖ これは、この会社で使っている、プラスチックをリサイクルした原料の1つだよ。海へプラスチックが流れてしまうことを防ぐために回収されたものがリサイクルされているんだ。

令和6年度全国高等学校総合体育大会（フェンシング競技）出場

たかはし いぶき
高橋 一颯さん

岐阜各務野高校フェンシング部の部長。種目はサーブル。大会前には、必ずインドカレーを食べる。

最後まで諦めない！

2年生の時に初めて出場した県大会の結果は、1回

まず。決勝の時に初めて出場した県大会の結果は、1回

まず。決勝の時に初めて出場した県大会の結果は、1回

まず。決勝の時に初めて出場した県大会の結果は、1回

まず。決勝の時に初めて出場した県大会の結果は、1回

まず。決勝の時に初めて出場した県大会の結果は、1回

まず。決勝の時に初めて出場した県大会の結果は、1回

まず。決勝の時に初めて出場した県大会の結果は、1回



子どもたちが、夢や目標、市への誇りを持てるよう、身近なものを作る市内企業の「ものづくりへの思い」などを紹介します。

あれもこれも
各務原生まれ!

No.
18

【変圧器】 岐阜愛知電機株式会社



メイドイン
各務原

➡ この会社では、お家
やお店で電気が使えるよ
うに、電気の強さを変え
る変圧器を作っているよ。
発電所から送られる電気
は、強すぎるからそのま
までは使えないんだ。



⊙ 変圧器は、鉄心と銅
線できているよ。電気
がこの中を流れると、電
気の強さが変わるんだ。
この銅線は手作業で巻い
ていて、種類によっては、
6000回以上巻くものも
あるよ。



⊙ 「不安なく、当たり前
に電気が使えるように」
との思いで、60年以上に
わたり、変圧器を作っ
ているよ。確かな技術と経
験が、みんなが安心して
電気を使える生活を支え
ているんだ。

稲羽地区オリジナルの「いなば音頭」制作に尽力

ながいきみこ
永井 紀美子さん

前渡東町在住。週3回、民踊サークルで楽しく踊っ
ています。35年、補導委員としても活動しています。

誰もが楽しく踊れる音頭に！

稲羽地区で盆踊りに使わ
れる「いなば音頭」は、平成
30年に完成。楽曲から振付
まで市民有志が制作し、永
井紀美子さんは、完成に向
けて尽力しました。現在は、
この音頭で地元の子どもた
ちと交流しています。

市内には、各地区オリジナ
ルの音頭がありましたが、
稲羽にはありませんでした。
永井さんは、「地元の稲羽に
も、住民が一つになること
ができ、受け継がれる音頭が
ほしい」と、オリジナル音頭
の制作に、有志を募りまし
た。永井さんはリーダーと
して、地区の歴史の聞き取
り、作詞や作曲の協力を集
めるなど、多くの方と連携
し、制作に奔走。また、振付
は自身で考案しました。
完成した歌詞には、昭和
に稲羽で栄えた機織りから、

現在の岐阜かかみがはら航
空宇宙博物館まで、地区の
歴史が盛り込まれています。
昨年、永井さんは稲羽中
学校でいなば音頭を教えま
した。すると、今年7月、
生徒から「また音頭を踊り
たい」と強い要望があり、
全校生徒といなば音頭を踊
る機会が設けられました。

当日、会場に着くと「永
井さん！」と、声をかけられ
るほどの人気ぶり。全校生
徒で音頭を踊り、最後には
アンコールが起きました。
「昨年の音頭を覚えてくれ
ていて、感動しました」と、
永井さんは、当日を振り返
ります。

中学生にも普及した、い
なば音頭。「長く踊り継い
でほしい」と、永井さんは、
普及とともに、ふるさとの
歴史を伝えていきます。



岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 新企画棟オープン！

この秋、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（愛称：空宙博^{そらぼく}）に、新企画棟が完成。今後、より充実した企画展を開催していきます。

現在、新企画棟のこけら落としとして、月をテーマにした特別企画展が開催中です。初めて人類が月へ挑んだアポロ計画や、現在、日本人宇宙飛行士の着陸が期待される「アルテミス計画」など、日本をはじめ世界各国が力を入れる、月面開発の最新状況を紹介しています。この機会にぜひ、空宙博新企画棟にお越しください。



月への挑戦ーアポロ計画から 50 年、人類は再び月を目指すー

期間 令和 7 年 3 月 9 日まで

場所 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館新企画棟（下切町 5）

内容 ▷月の石・月の砂の展示▷月面着陸船の実物大模型の展示▷月面着陸の映像体験▷ぎふハイスクールサットプロジェクトの紹介 ほか

費用 入館料のみ（大人 800 円、高校生・60 歳以上 500 円、中学 3 年生以下無料）

備考 その他、期間中に企画展に合わせたイベントなども開催します。詳細は、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館ウェブサイト（右記 QR コード）をご覧ください

詳細 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 ☎058-386-8500



あなたの好きな各務原を、一緒に発信しませんか？

移住定住ウェブサイト「OUR FAVORITE KAKAMIGAHARA（通称:OFK）」では、各務原の魅力的なヒト・モノ・コトを発信しています。ぜひご覧ください。また、サイトをともに創りあげる「ボランティアライター」も募集します。

▶魅力的なヒト・モノ・コトを紹介

各務原のことが、より好きになる記事が満載です（右記 QR コード参照）。



FEATURE

市内の新たな動きを
特集記事で紹介



CITY

市内の魅力的な
お店や場所を紹介



PEOPLE

市ゆかりの
魅力的なヒトを紹介



TOPICS

市内の出来事や
最新情報をお知らせ



▶ライターの声を紹介！

取材で見えてくる「ヒト」の魅力

実際に取材をすると、おいしい、面白いだけでなく、それを生み出す「ヒト」の魅力を感じます。そして、それを誰かに伝えたい思いで、記事を書いています。活動を通して、各務原がもっと好きになりました！



▶一緒に活動しませんか？

取材から記事作成まで、広報課がサポート。また月に一度集まり、気になるお店や人の情報を交換しています。まちの魅力を一緒に発信しませんか？

申込と詳細 同ウェブサイト（右記 QR コード）内専用フォームから広報課 ☎058-383-1900

